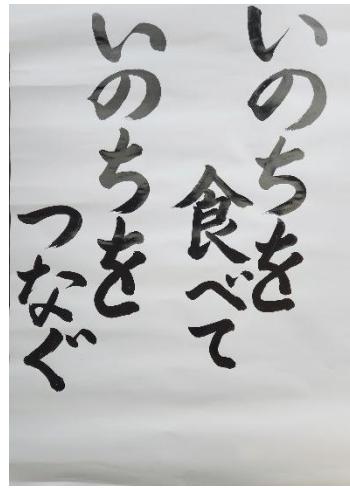


慶念寺の掲示板 第四十八回

つ
な
が
い



「いのちを食べていのちをつなぐ」

ホームページのブログでは時々書いておりました。今年は数種類の野菜を花壇で育ておりました。しかし、なかなか思うように育つてくれません。キュウリは皮がかたくなってしまうし、ピーマンも花はつくものの中々実が大きくなってくれません。他の野菜も順調とは言い難いです。野菜を育てるつて難しいですね。

やつてみて改めて、いつも美味しい野菜を育ててくれている農家さんへの尊敬の思いがわいてきました。きっと、沢山の時間や労力をかけて育て上げてくれているのだろうと思います。

その時に、ふと思つたのです。「私たちの食事は、沢山の方のいのちで出来ている」

た命もあるでしょう。そしてその食べ物を育ててくれた方、運んでくれた方、食事を作つた方。沢山の方の人生の一部分を私は頂いています。そう考えてみると「いただきまます」「ごちそうさま」という言葉は、沢山のいのちに向けて言う尊い言葉なのだと改めて感じます。

さて慶念寺では年に二回、夏と冬に「おでらおやつクラブ」を通してお供物のおさがりを寄付しています。今年のお盆の法要も沢山のお供えをいただき、二十三の家庭に送ることが出来ました。慶念寺の活動に皆様の共感を頂けていること、とても嬉しく感じております。

箱詰めの作業をしながら、「顔も知らないどこかの子どもたちが、この箱を開けて笑顔になつてている」そんなことを思いながら詰めていると、こちらも自然と笑顔になつてきま

歎異抄の公開講座も一区切り

二〇一九年の四月に始

う言葉が聞こえてくるようです。誰かのいのちが私のいのちにつながつていて。そして、私たちのいのちもまた、誰かのいのちにつながつていて。あらためて、そのことを味わせていただきました。



めた慶念寺公開講座「歎異抄から学ぶ」ですが、去る八月二十五日をもつて、一度最終回を迎えるました。開始した翌年に、新型コロナウィルスの感染拡大が始まり、中断期間があつたものの、外出規制が緩和されてからは、反動が起きたかのように参加者が増え、毎回超満員になる人気講座となりました。慶念寺の自己紹介として始めたこの講座。これを見つかけとして、慶念寺のご門徒さんとなつてくださった方もいらつしやいました。また、他のご宗旨のお檀家さんや、他のお寺のご門徒さん。クリスチヤンの方など、沢山の方に「歎異抄」を通して、慶念寺と浄土真宗に親しんでいただけたことはとても嬉しいことです。

一度区切りとはなりますが、最終回を迎える前から、再開を希望する声を多数頂戴しております。なので！ご講師の南條先生と相談して、また年明けにイチからスタートを予定です。続報をお待ちください。

帰敬式のおすすめ（法名）

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

エンディングノートを通して 今後を見つめていきます



十月六日(月)十四時
から、多摩市民館第一会議室で川崎市発行のエンディングノート『未来あんしんサポートノート』を用いて、終活の講座を開催いたします。

ご講師の築地本願寺職員で金融経済教育推進機構講師・認定アドバイザーの尾崎哲郎師とともに

に、実際にエンディングノートを書きながら終活について考え、同じく築地本願寺職員の伊藤輝彦師に川崎市未来あんしんサポート事業についてお話をいただきます。
また、住職も実際にあつた事例を通して「家族を思つて先回りしすぎるこの危険性」についてお話をいたします。
「終活」というと「死ぬための準備」と思われるがちですが、そうではありません。「ど

仏事について何かあつたらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

発送作業のお手伝いのお願い
寺報の発送作業のお手伝いをしていただけの方を募集いたします。

日時・令和七年九月二十七日(土)

十四時から

場所・慶念寺本堂
内容・寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやつてある発送作業です。寺報を折つて封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありますたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。



ご法事について
最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけではなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関する質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

九月二十一日(日)十四時から 慶念寺本堂

にて「秋のお彼岸法要」を行います。今回は、久しぶりに住職がお話を予定です!

浄土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話: 044-819-5482
FAX: 044-819-5538
Email: mail@kyounenji.com
ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード

編集後記



公開講座も一区切り。少しずつ他のことも先を見据えて走り出そうと思つております。そんな中で、慶念寺の念願でもある本堂の建築計画を策定する前の準備を進めております。予定では現行の建物の横に新たに建てて、一部分をつなぐというもの。設計士さんと相談して概算を聞いたところ「厳しいなあ…」と。でも無理な数字ではないはず。頑張ります。

怒涛の忙しさだった8月のお盆が終わり、いまだにその疲れを少しだけ引きずつております。実家のお盆のお手伝いが終わつてすぐに、慶念寺の旧暦お盆法要、神奈川組の連続研修会講師。公開講座と怒涛の日々が過ぎ去つて、いま寺報を書いております。忙しいです。でも、ヒマよりはいいですよね。